

日本画

応募点数	46点	招待作品	11点
入賞点数	7点	展示点数	57点
入選点数	39点	移は移動展出品作品	

(総 評) 展示作品は一般35点、会員11点、招待11点で、出品者は49歳から90歳までと幅広い年齢層から応募がありました。

審査会場に並べられた作品は、例年に比べバラエティに富んだ力作が多く見られました。作品の中には、写実で穏健な作品がありましたが、絵は写真ではないので虚構や誇張があっても良いので、技法だけでなく感動から生まれる作品作りが大切だと思いました。一方岩絵の具や箔の扱い方、マチエール等に工夫があり、自己表現のため懸命な努力をされている作品も多く、出品への意気込みと質の向上に県展日本画も更に良い方向へ変化していると感じられました。

県展出品は作者にとって一年間の思いを込めた集大成であり、審査する側も自分の鑑識眼が試される厳しい場でもあります。

入賞作品選考にあたりましては、全作品を列挙し厳正に審査を重ね、候補に上がった作品はさらに審査を重ね各賞を決めました。

受賞作はいずれもテーマが明確で、感性、技量、画材の扱いも巧みだと感じました。

また、残念ながら賞に入らなかった作品の中にも、色彩、構成、表現、メッセージ性等魅力的な作品も沢山ありました。

この度出品された方々には、来年度もぜひ挑戦していただきますようお願いいたします。

県展、日本画を一人でも多くの方々にご覧いただき、日本画の魅力にふれていただき、また、日本画出品者が増えていくことを心から願っています。

(文責 福間小夜子)

知事賞 移

やくそく 約束

もり わき じゅん こ
森 脇 純 子 (出雲市)

花嫁の喜びと緊張の瞬間を描いた佳品です。ウェディングベールの花嫁、白いドレス、バックのスタンドグラス、大理石など画面は白を基調にまとめています。赤をはじめ他の色や箔をテーマにふさわしい色あいでまとめています。岩絵具の扱いも巧みです。課題は肝腎の人物です。顔の表情、立った姿勢、体全体のデッサンの勉強が必要です。更なる精進を期待します。

(文責 安部 富男)

金賞 ⑧

せいせい る てん
生生流転

ふる もり かず よ
古森和代 (浜田市)

長い歴史を刻んだ巨樹が、力強く描いてあります。

マチエールには、金箔を押し、モチーフを効果的に引き締めています。

樹皮の表現、うねりくねった根の表現など細かな作業と、大胆な作業が上手く調和されて、巧みな画面構成です。

色かずに少なくし、精神的な深みを感じさせる秀作です。

更なる追求と、精進を期待します。

(文責 大森 幹雄)

銀賞 ⑧

くず ば おつ
葛葉落

きよ はら しげ はる
清原茂治 (松江市)

冬の迫るある日、自然の中にみつけた風景の一片を切り取って画面に表現された心に沁みる絵に仕上がっています。スケッチを基に葛葉を中心に据え、画面の両脇から色を押さえながら空気感を出していき、散り残った葛が少し淋しげに浮きあがって、見る人に季節を訴えています。日本画本来の岩絵具の使い方もしっかりしています。これからも更に題材を求められて素晴らしい絵をみせて頂けることを楽しみにしております。

(文責 角田 智竭)

銀賞 ⑧

は ひ び と お
馳せた日々は遠く

き とう
佐藤 さゆみ (出雲市)

画面を占める金属のかたまり、オートバイが目をひきます。作者は女性です。昔、作者自身が乗りまわしていたのか、愛する家族が使っていたらっしゃったのか、思い出に浸りながらの観察力や描写力が満ちています。

オートバイのサドルと心臓部分エンジンに方向が少しずれているような気がします。左部分が、手前方向に出る気持ちを工夫されたら、もっと迫力が増すでしょう。

描く姿勢のエネルギーを大いに感じます。これからも、大胆に、いい作品づくりをなさってください。おめでとうございます。

(文責 村上ななほ)

銅賞 ⑧

げん え き
まだまだ現役

ふく ま みちこ
福岡美智子 (出雲市)

作者にとって愛車ともいうべきトラクターを画面いっぱいにくローズアップされ描かれています。トラクターは、錆びついた鉄の部分や、長く使われたタイヤのつぶれた部分まで繊細に表現されています。作者のデッサン力がうかがえます。背景には箔がはられ、それをはがし、その上に絵の具をかけるという工夫がされています。又その形や色彩のおもしろさが時間の流れをも感じさせます。大胆な構図と共に画面全体に統一感のある佳い作品に仕上がっています。

(文責 清水 誠子)

銅賞 ④

花王

佐々木

勉 (松江市)

作者は、この難しいテーマに今年も果敢に挑戦されています。画面いっぱいに描かれた牡丹の花は、構図にもそつがなく、色彩も柔らかい緑と赤を基調にし、白い花を浮きたたせてあります。対象物をフォーカスすると細かい部分のデッサン力が問われますが、正確な写生と筆の運びですばらしい作品に仕上がっています。これからの作品も期待しています。(文責 浜村 厚子)

銅賞 ④

おねだり

黒田育子 (出雲市)

見降ろす眼差しと見上げる眼差し。そこには言葉は無いでしょう。しかし、服の生み出す瞳とひとみの間のふわふわとした色の流れがご主人とねこの言葉にならない心の交流を想像させてくれます。この作品では、背景の白と黒の色の対比が印象的です。そして、このシャープさが服の色の重なりを一層際立たせ、柔らかく穏やかな空気を生み出しています。作者の愛情を強く感じる温かな作品です。(文責 内藤 博信)

入選

	題名	氏名	備考
	東雲月下の松江城	稲村 正志 (出雲市)	日本画協会新人賞
	みんなおすまし	小谷 紘子 (安来市)	
	百合	岸井 二美 (松江市)	
	ラトビアにて	杉原 瑩子 (松江市)	
	夏の終り	菅野 あい子 (松江市)	
	時の流れ	井上 櫻子 (松江市)	日本画協会奨励賞
	ダリヤは紅し	荒川 ゆかり (松江市)	
	菩薩半跏思惟	花井 吉郎 (松江市)	
	祈り	岩崎 隆 (松江市)	
④	追憶	西藤 真弓 (浜田市)	
	暮色	渡部 スミ子 (安来市)	
④	深い森の小さな青空	村岡 万子 (山口県)	
④	雪化粧	大石 照子 (益田市)	
	しあわせの季	野津 恵子 (松江市)	日本画協会奨励賞
	万年青	打田 はるみ (出雲市)	
④	団	小川 明夫 (浜田市)	
	清々しく	岸 静子 (出雲市)	
	鉾現る	北脇 豊史 (出雲市)	日本画協会賞
	遊	引野 春雄 (出雲市)	
	早苗	原 邦子 (出雲市)	
	瓶に活ける	今岡 恵子 (出雲市)	

題名	氏名	備考
干網	鹿田純子(松江市)	
深秋	有田秀子(出雲市)	
揺らぐ	勝部早苗(出雲市)	
朝もやに舞う	飯塚眞治(出雲市)	
楽其生	榊原真(松江市)	
雪の下紅梅	塚本治代(奥出雲町)	
刻を継ぐ	西村朋子(出雲市)	
⑩ 祭の日	渡麻矢(大田市)	会員 日本画協会会員賞
森の妖精	内藤章江(松江市)	会員
⑩ 穏やかな時	広田あつ子(安来市)	会員 日本画協会会員奨励賞
映	柳楽朝子(出雲市)	会員
赫々	田中初子(出雲市)	会員
映	米原ひろこ(出雲市)	会員
君に贈れなかった花は	伊藤圭子(出雲市)	会員
蔓立ち	須谷幹子(出雲市)	会員
待ち合わせ	舟木美代子(松江市)	会員
鶏頭	松原安杏(松江市)	会員
窓辺	松下純子(出雲市)	会員

招待

題名	氏名	備考
⑩ 海へ	福間小夜子(出雲市)	
宙	安部富男(松江市)	
富貴花	大森幹雄(出雲市)	
日が沈む聖地	小村俊美(出雲市)	
染めゆく秋	清水誠子(出雲市)	
朝焼け	角田智竭(松江市)	
⑩ 奏	内藤博信(松江市)	
万華鏡	中村康二(奥出雲町)	
白い朝	浜村厚子(出雲市)	
ひこ生え	村上ななほ(松江市)	
おでかけ	吉岡珠恵(松江市)	